

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成23年8月11日
【四半期会計期間】	第66期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古川 雅一
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6453 - 4511
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第1四半期連結 累計期間	第66期 第1四半期連結 累計期間	第65期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	1,809,922	1,853,166	7,771,818
経常利益(千円)	100,437	232,443	943,549
四半期(当期)純利益(千円)	37,505	79,570	571,502
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	7,607	72,919	533,809
純資産額(千円)	10,223,637	10,734,234	10,714,188
総資産額(千円)	14,135,252	14,525,379	14,514,650
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	3.69	7.83	56.22
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)			
自己資本比率(%)	70.6	72.2	72.1

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第65期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に景気回復の兆しが見られていたものの、甚大な被害をもたらした東日本大震災により供給が逼迫し、国内企業の生産や輸出に大きな影響を及ぼしました。また、震災に伴う消費マインドの悪化により個人消費が低迷するなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、震災による原材料調達の影響を極小化し、製品の継続的な供給に注力するとともに、お客様の支持を得る環境対応商品の開発や新市場の開拓に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、18億53百万円（前年同四半期比2.4%増加）となりました。また、収益面におきましても、営業利益は1億85百万円（前年同四半期比125.0%増加）、経常利益は2億32百万円（前年同四半期比131.4%増加）となり、四半期純利益は80百万円（前年同四半期比112.2%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

塗料事業

売上高は18億27百万円（前年同四半期比2.4%増加）、営業利益は1億76百万円（前年同四半期比142.5%増加）であります。

その他

売上高は26百万円（前年同四半期比0.8%増加）、営業利益は10百万円（前年同四半期比3.3%減少）であります。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の財政状況は、前連結会計年度末と比較して、資産は11百万円増加、負債は9百万円減少、純資産は20百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、現金及び預金3億75百万円、たな卸資産84百万円、減少の主なものは受取手形及び売掛金46百万円、長期預金3億円であります。

負債の増加の主なものは、未払金1億15百万円、減少の主なものは未払法人税等91百万円、賞与引当金75百万円であります。

また、純資産の増加の主なものは、利益剰余金29百万円となっております。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、27百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成23年8月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,752,000	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 170,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,958,000	9,958	-
単元未満株式	普通株式 120,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,958	-

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目 15番24号	1,752,000		1,752,000	14.60
(相互保有株式) イサム土地建物株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目 15番24号	170,000		170,000	1.41
計	-	1,922,000		1,922,000	16.01

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,374,410	3,749,118
受取手形及び売掛金	2,383,586	2,337,545
有価証券	300,700	300,701
商品及び製品	729,884	792,103
仕掛品	79,969	65,574
原材料及び貯蔵品	195,149	231,699
繰延税金資産	86,640	56,762
その他	46,611	63,067
貸倒引当金	39,940	27,024
流動資産合計	7,157,009	7,569,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,423,988	2,425,198
減価償却累計額	1,156,227	1,175,206
建物及び構築物(純額)	1,267,761	1,249,992
機械及び装置	345,120	345,120
減価償却累計額	292,783	296,556
機械及び装置(純額)	52,337	48,564
工具、器具及び備品	362,355	362,135
減価償却累計額	323,779	326,652
工具、器具及び備品(純額)	38,576	35,483
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	72,359	72,964
減価償却累計額	65,358	67,329
リース資産(純額)	7,001	5,635
有形固定資産合計	2,710,142	2,684,141
無形固定資産		
ソフトウェア	36,196	33,067
ソフトウェア仮勘定	57,746	67,242
施設利用権	7,711	7,481
電話加入権	6,310	6,310
リース資産	194,554	182,676
無形固定資産合計	302,517	296,776
投資その他の資産		
投資有価証券	2,381,491	2,369,866
長期貸付金	3,258	3,052
長期預金	980,000	680,000
保険積立金	695,212	692,697
繰延税金資産	248,823	197,364
その他	39,946	35,268
貸倒引当金	3,748	3,330
投資その他の資産合計	4,344,982	3,974,917
固定資産合計	7,357,641	6,955,834

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産合計	14,514,650	14,525,379
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,594,760	1,615,927
1年内返済予定の長期借入金	52,000	52,000
リース債務	53,804	52,563
未払金	162,055	277,031
未払法人税等	151,745	61,162
未払消費税等	26,340	28,362
預り金	64,825	61,769
賞与引当金	108,391	33,458
その他	29	35,824
流動負債合計	2,213,949	2,218,096
固定負債		
長期借入金	501,000	488,000
長期預り保証金	246,992	248,489
リース債務	157,921	145,304
繰延税金負債	3,096	3,684
退職給付引当金	473,191	479,784
役員退職慰労引当金	67,074	71,075
修繕引当金	20,000	22,500
負ののれん	86,791	83,898
金利スワップ	30,449	30,315
固定負債合計	1,586,514	1,573,049
負債合計	3,800,463	3,791,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	8,646,793	8,675,977
自己株式	708,604	708,630
株主資本合計	10,438,515	10,467,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,054	39,750
繰延ヘッジ損益	18,123	18,044
その他の包括利益累計額合計	27,931	21,706
少数株主持分	247,742	244,856
純資産合計	10,714,188	10,734,234
負債純資産合計	14,514,650	14,525,379

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,809,922	1,853,166
売上原価	1,240,066	1,193,109
売上総利益	569,856	660,057
販売費及び一般管理費	487,442	474,596
営業利益	82,414	185,461
営業外収益		
受取利息	1,715	2,179
有価証券利息	2,631	6,388
受取配当金	4,242	3,803
受取賃貸料	13,594	13,835
塗装情報サービス会費	750	4,977
負ののれん償却額	2,893	2,893
貸倒引当金戻入額	-	13,334
その他	6,166	4,585
営業外収益合計	31,991	51,994
営業外費用		
支払利息	5,118	4,636
支払補償費	365	-
持分法による投資損失	8,334	-
その他	151	376
営業外費用合計	13,968	5,012
経常利益	100,437	232,443
特別利益		
株式受贈益	15,847	-
貸倒引当金戻入額	1,230	-
特別利益合計	17,077	-
特別損失		
役員退職慰労金	38,461	-
災害による損失	-	3,934
特別損失合計	38,461	3,934
税金等調整前四半期純利益	79,053	228,509
法人税、住民税及び事業税	9,510	63,100
法人税等調整額	31,651	86,266
法人税等合計	41,161	149,366
少数株主損益調整前四半期純利益	37,892	79,143
少数株主利益	387	427
四半期純利益	37,505	79,570

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	37,892	79,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,272	6,303
繰延ヘッジ損益	21,984	79
為替換算調整勘定	5,757	-
その他の包括利益合計	45,499	6,224
四半期包括利益	7,607	72,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,350	73,305
少数株主に係る四半期包括利益	10,957	387

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）
（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用） 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

【注記事項】

（四半期連結貸借対照表関係）

輸出貿易信用状取引

輸出貿易信用状取引における銀行間決済未済の銀行手形買取残高があります。

	前連結会計年度 （平成23年3月31日）	当第1四半期連結会計期間 （平成23年6月30日）
銀行手形買取残高	9,053千円	10,666千円

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費も含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）
減価償却費	41,889千円	42,441千円
負ののれんの償却額	2,893千円	2,893千円

（株主資本等関係）

前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	51,246	5	平成22年3月31日	平成22年6月30日

2. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	51,236	5	平成23年3月31日	平成23年6月30日

2. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	1,783,653	26,269	1,809,922	-	1,809,922
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,783,653	26,269	1,809,922	-	1,809,922
セグメント利益	72,519	9,895	82,414	-	82,414

(注) その他は不動産賃貸業に係るものです。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	1,826,682	26,484	1,853,166	-	1,853,166
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,826,682	26,484	1,853,166	-	1,853,166
セグメント利益	175,896	9,565	185,461	-	185,461

(注) その他は不動産賃貸業に係るものです。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	3.69円	7.83円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	37,505	79,570
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	37,505	79,570
普通株式の期中平均株式数(株)	10,166,654	10,164,813

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月10日

イサム塗料株式会社
取締役会 御中

清稜監査法人

代表社員 公認会計士 高橋 弘 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 松嶋 秀行 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。